



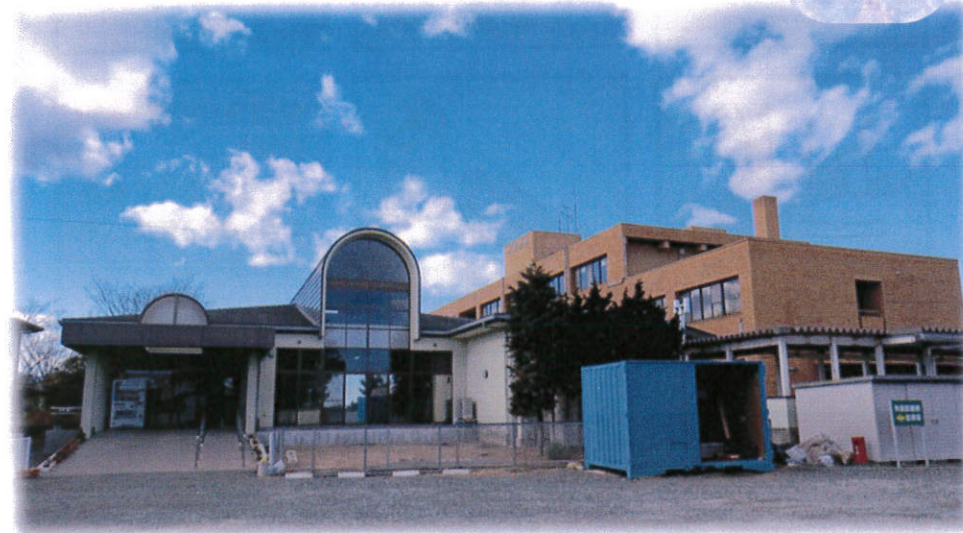
2015 (平成27) 年2月2日

〒979-2121

南相馬市小高区東町三丁目8番地
電話 0244-44-2025

再開第十一号

南相馬市立
小高病院
便り



診療日・時間

月・水・木曜日

ただし、第3木曜日の午後は休診いたします。

午前8:45~12:00

受付時間 (午前8:30~11:30)

午後2:00~5:00

受付時間 (午後2:00~4:30)

平成27年2月 診療予定表

	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
午前		中尾誠利		高橋哲之助	神戸敏行		
午後					今野 明		
	8	9	10	11	12	13	14
午前		中尾誠利		建国記念日	鈴木良平		
午後					今野 明		
	15	16	17	18	19	20	21
午前		中尾誠利		高橋哲之助	小蓮昌明		
午後					休診		
	22	23	24	25	26	27	28
午前		中尾誠利		高橋哲之助	根本 剛		
午後					今野 明		

平成27年3月 診療予定表

	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
午前		中尾誠利		高橋哲之助	神戸敏行		
午後					今野 明		
	8	9	10	11	12	13	14
午前		中尾誠利		高橋哲之助	鈴木良平		
午後					今野 明		
	15	16	17	18	19	20	21
午前		中尾誠利		高橋哲之助	小蓮昌明		春分の日
午後					休診		
	22	23	24	25	26	27	28
午前		中尾誠利		高橋哲之助	根本 剛		
午後					今野 明		
	29	30	31				
午前		中尾誠利					
午後							

「院内感染」防止に努めています

「院内感染」とは、患者さんや従業員が病院内で感染症にかかることです。当院では「院内感染」の発生を未然に予防するため、毎日の院内清掃や研修など、万全の対策をとっています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の予防対策にご協力を!

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、冬場から春先にかけて流行する傾向があり、おう吐や下痢などの症状が見られる感染症です。以下の、予防対策にご協力ください。(栃木県健康福祉センター資料)

1、しっかりと手洗いを励行すること

(1) 外出から帰宅したとき、(2) トイレの使用後、(3) 調理や食事の前など、石けんを使用して、指先、指の間、爪、手首までしっかりと手洗いを行いましょう。



※手洗い終了後、手に残った水分を拭くために、供え付けのタオル等でなく、ペーパータオル(使いきり)を使用するとより衛生的です。

2、おう吐物や排泄物は適切に処理すること

おう吐物、排泄物(おむつを含む)を処理する際は、その汚物自体が感染性のものであるという前提で処理する必要があります。汚物を処理した人がノロウイルスに感染しないよう事前に準備(使い捨てのマスク、手袋などの着用)をしっかりと行いましょう。以下、おう吐物等の処理(消毒を含む)の作業イメージです。

①使い捨てのペーパータオルなどを使い、おう吐物等の外側から内側に向けて静かに拭き取ります。

②使用したペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れ、0.1%次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオルに染みこむ程度に入れて袋を縛り廃棄します。

③汚物が付着していた床及びその周囲は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染みこませたペーパータオルで浸すように拭き、その後袋に入れ縛って廃棄します。



※次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

3、ドアノブ、トイレの便座など環境の消毒も重要です

ノロウイルスは感染力が強いため、人の手などを介してドアノブ、トイレの便座及び調理器具など様々な環境に付着し、人への感染機会をうかがっています。0.02%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませたペーパータオルなどを用い、必要に応じて環境の消毒を行きましょう。

※次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)は金属腐食性があるので、消毒後は、薬剤の拭き取りを十分にするように注意してください。

4、消毒液の作り方(家庭用塩素系漂白剤(5%)を原液とした場合)

おう吐物、排泄物等を処理する際に使用(0.1%)	500mlのペットボトルに水を入れ、キャップ2杯(約10ml)の漂白剤を加える
ドアノブ、トイレの便座など環境などに使用(0.02%)	1ℓのペットボトルに水を入れ、キャップ1杯(約5ml)の漂白剤を加える

※ペットボトルで作成した消毒液は、○%消毒液と表示したうえ一度に全部使い切るなど子供などの誤飲防止に万全を期して下さい。

できていますか? 衛生的な手洗い



1 流水で手を洗う



2 洗剤を手取る



3 手のひら、指の腹面を洗う



4 手の甲、指の背を洗う



5 指の間(側面)、股(付け根)を洗う



6 親指と親指の付け根のふくらんだ部分を洗う



7 指先を洗う



8 手首を洗う(内側・側面・外側)



9 洗剤を十分な流水でよく洗い流す



10 手をふき乾燥させる



11 アルコールによる消毒

2度洗いが効果的です!

2~9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。

※アルコールは、ノロウイルスの不活化にはあまり効果がないといわれています。

©公益社団法人日本食品衛生協会